

令和3年度事業報告



んだんだ講座

社会福祉法人大石田町社会福祉協議会

1. 行事について

新型コロナウイルス感染防止のため、昨年度に引き続き中止となった行事もありましたが、感染状況をみながら活動を再開し始めました。令和3年度において実施した行事は次のとおりです。

(1) 8月20日(金) 戦没者追悼式

令和2年度は、戦没者追悼式史上はじめての中止となった。令和3年度は規模を縮小しての開催となった。

会場：虹のプラザ多目的ホール

内容：来賓、仏教会を代表者のみとし感染予防に配慮しての開催となった。

参加：遺族会・仏教会代表・区長会代表・民生委員児童委員協議会代表・議会代表・大石田町長・社会福祉協議会関係者

(2) 10月2日(土) 赤い羽根共同募金運動オープニングセレモニー

会場：ふたば児童センターグラウンド

内容：児童、園児によるマーチングバンド等によるセレモニー

参加：ふたば保育園理事長・ふたば保育園職員・児童・園児・保護者
山形県共同募金会事務局職員

大石田町長(会長)・常務理事・社協職員・ボランティア

参考：令和3年度赤い羽根共同募金 募金額 1,610,298円(目標達成)



(3) 10月20日(水) 金婚祝賀記念式典(おしどり金婚式)

会場：虹のプラザ中会議室

内容：大石田町による祝詞、記念品贈呈・山形新聞社による顕彰レリーフ贈呈
思い出のフォトアルバム公開(スライドショー)・飲食無し

参加：申請26組中21組金婚夫妻の参加

山形新聞社尾花沢支社長・大石田町議会議長・大石田町教育長・大石田町議会産建常任委員長・大石田町老人クラブ連合会長

大石田町長（会長）・副町長（副会長）・副会長・常務理事・社協職員
参考：金婚夫妻には祝詞、記念品（写真）、
レリーフ、仕出し料理、ケーキを贈呈



（４） 11月19日（金）おもいやりのつどい（ひとり暮らし高齢者、介護人への慰労）

会場：あったまりランド深堀

内容：健康教室、生活安全講座、会食、入浴、ビンゴゲーム

参加：24名参加

大石田町長（会長）・三瀧英樹リハビリ指導員・社協職員

参考：送迎は大石田町のバス、ワゴン車の2台で行った。



（５） 2月18日（金）大石田町社会福祉協議会 会長表彰式（福祉のつどい）

会場：虹のプラザ 中会議室

内容：善行者（社会福祉協議会への寄付者）、老人クラブ活動育成指導功労者等への会長表彰式（従来の福祉のつどいの表彰式だけを行った。）

参加：表彰対象者33名中19名参加

大石田町議会議長・大石田町長（会長）・社協副会長・常務理事・大石田町老人クラブ連合会長

（６） その他実施された行事

身体障害者福祉会歩行宿泊訓練（米沢方面）・手をつなぐ育成会親子ふれあい研修（東紅苑）・老人クラブ新春囲碁将棋大会

（新型コロナウイルス感染防止のため中止とした行事）

老人クラブ等の各団体関係行事、会議など・福祉講座・出前講座・いきいき大石田福祉のつどい・手づくり展

2. 事業について

地域福祉活動を主とする事業については、高齢者の見守り支援、生活困窮者支援などをはじめとして、コロナ禍において、その重要度は増々高いものとなりました。

(1) 高齢者、障がい者への見守り支援

①配食サービス ※大石田町からの委託事業

内容：お弁当を宅配することによって、高齢者宅を訪問し体調の変化や困りごと等について確認する。(1食あたり自己負担200円)

利用登録者数については、新規登録者数増と死亡、施設入所などによる減が毎年ほぼ同数で推移している。常に65名前後の登録利用者。

年間配食回数：24回(昨年度より2回増)

1,567食(昨年度より210食増加)

支援連携団体：民生委員児童委員協議会・食生活改善推進員連絡協議会・食ボランティア虹の会・福祉ボランティアいこいの会・大石田町・大石田町社会福祉協議会

②ふれあい訪問事業

内容：民生委員が乳酸飲料を手土産をもって高齢者宅を訪問し体調の変化や困りごと等について確認する。

年間配達回数：10回 延べ1,258件(昨年より20件減)

1件あたり4本配達 計5,032本

支援連携団体：民生委員児童委員協議会・大石田町・大石田町社会福祉協議会

③冬期間見守り活動(除雪ボランティア)

内容：降雪期に一人暮らし高齢者、障がい者宅を訪問し、困りごとや安否確認をする。今期は除雪体制づくりプロジェクト会議に従い、「雪の相談窓口」として実施。詳細は「協働のまちづくり事業」にて報告。

④買い物支援

内容：昨年度、鷹巣地区をモデル地区として実験的に行った「買い物ツアー」をもとに町内の商店が連携し「レインボーバスケット」として、より利便性を高めて実施した。詳細は「協働のまちづく事業」にて報告。

⑤サロン活動

内容：主として老人クラブが主体となって健康づくりと孤立を防ぐことを目的として百歳体操や、お茶飲み会をしている。今年度は感染防止のため未実施の地区が多かった。サロン未実施地区については社会福祉協議会が主導する形で

取り組んでいる。

実施地区：8地区（社協補助金交付地区）昨年度より2地区減

1地区あたり3,000円補助

支援連携団体：各地区・老人クラブ・大石田町・大石田町地域包括支援センター・民生委員児童委員協議会・大石田町社会福祉協議会

⑥「んだんだ講座」

内容：保健福祉課・地域包括支援センター・社会福祉協議会が連携して、地域に出向いて、地域の福祉課題について座談会を開く。

実施地区：3地区実施 22人参加

⑦福祉サービス利用援助事業

※ 山形県社会福祉協議会からの委託事業

内容：高齢者や知的障がいや精神障がいのある方などで、福祉サービスの利用をしたいけれどよくわからない方や、お金の管理や引き出しができないなど日常生活に不安のある方に、社会福祉協議会職員の専門員が支援契約を結び、社会福祉協議会から委託された生活支援員が訪問し、日常的な金銭の出し入れや見守りなどの支援を行う。 利用料：1回1,500円

利用者数：7名 専門員：3名 生活支援員：4名 ※増減は昨年比

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
相談	51	39	40	58	45	45	36	42	40	31	31	45	503 +89
支援	9	9	9	11	8	8	7	9	7	8	9	8	102 -6

相談件数内訳 認知症高齢者 107回 知的障がい者 147回 精神障がい者 249回 他0回

支援連携団体：大石田町地域包括支援センター・介護事業者・民生委員児童委員協議会・山形県社会福祉協議会・大石田町社会福祉協議会



(2) 生活困窮者への支援

①たすけあい金庫貸付事業（大石田町独自の支援事業）

内容：緊急に必要とする生活資金（例えば、水光熱費、通信費等のライフラインを維持するために資金）を貸付し、低所得者の生活をささえる事業。

大石田町民限定 1世帯10万円までの貸付 原則12か月で返済。

(月別貸付金額及び件数) 金額単位：万円

※増減は昨年比

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
件数	3	2	1	1	0	3	0	0	4	1	1	2	18 -4
貸付	24	3.5	1	10	0	14.5	0	0	14.5	10	10	20	107.5 -49.4

(月別返済金額及び件数) 金額単位：万円

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
件数	9	3	13	2	7	4	9	4	10	2	7	4	74 +9
返済	16.5	6	17.8	1	7.5	2	10.7	1.8	8.2	1.5	9.7	2.5	85.2 +22.9

支援連携団体：民生委員児童委員協議会・大石田町社会福祉協議会

②生活福祉資金貸付事業

※ 山形県社会福祉協議会からの委託事業

内容：総合支援資金・福祉資金福祉費・福祉資金緊急小口資金・教育支援資金などの資金貸付制度がある。利用できるのは低所得世帯、障がい者世帯などで、世帯所得の上限がある。昨年からの新型コロナウイルス感染防止対策による緊急支援として生活福祉資金特例貸付「緊急小口資金」「総合支援資金」などの貸付がある。

総合支援資金：貸付上限 60 万円（一時生活再建費）

福祉資金 福祉費：貸付上限 580 万円（技能習得費）

緊急小口資金：貸付上限 10 万円（生活困窮者自立支援制度支援）

教育支援資金：高校、短大、大学、専門学校就学のための支援費、支度費（生活福祉資金特例貸付）新型コロナウイルス感染症の影響による休業や失業により生活資金で困窮している場合に貸付を行う。6月末まで延長。

緊急小口資金：20万円以内（主に休業による困窮世帯の場合）

総合支援資金：60万円以内（主に失業による困窮二人以上世帯の場合）

(月別貸付金額及び件数) 金額単位：万円

※増減は昨年比

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
件数	総4	総1	急2	総1	福	急2	0	急1	0	0	急1	総1	急6 総7 福1 -18
貸付	240	不	40	60	80	20 不	0	20	0	0	20	20	500 -394

福＝福祉資金

急＝コロナ緊急小口資金

総＝コロナ総合支援資金

支援連携団体：民生委員児童委員協議会・山形県・山形県社会福祉協議会・大石田町社会福祉協議会

③北村山地域生活困窮者自立相談支援事業

※ 山形県からの委託事業（令和2年度より受託）

内容：働きたくても働けない、住む所がない、社会に出られない、経済的に困っているなど、相談窓口で一人ひとりの状況に合わせた支援プランを作成し、専門の支援員が相談者に寄り添いながら、他の専門機関と連携して、解決に向けた支援を行う。就労支援事業、就労準備事業、住居確保事業、一時生活支援事業、家計相談事業、学習支援事業、フードバンク、たすけあい金庫貸付事業、生活福祉資金貸付事業、生活保護制度とも連携し、ワンストップで生活全般に渡る支援を提供するセーフティネット。

（月別相談件数）

※増減は昨年比

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
新規件数	6	1	0	3	1	0	0	0	0	0	1	1	新規 13 —3 継続 12 計 25
相談回数	来 21 同 4	来 34 同 7	来 19 同 3	来 22 同 3	来 23 訪 4	来 24 同 1	来 24 訪 2	来 20	来 19 訪 1	来 11 訪 2	来 13 訪 1	来 43 訪 1	来 273 +44 訪 11 -20 同 18 ±0

来＝来所相談 訪＝訪問相談（家庭・病院） 同＝同行支援（ハローワーク・病院等）

※計25件の相談内容

収入減による生活困窮、債務整理、家計相談、就労相談、ひきこもり、精神不安定など。資金貸付、家計指導、就労支援、同行支援、他機関連携等により対応、多くは継続支援中。就労決定件数3件。

支援連携団体：民生委員児童委員協議会・山形県・村山公共職業安定所・山形県社会福祉協議会・山形県身体障害者福祉協会・北村山地区労働者福祉協議会・山形県ひとり親福祉会・大石田町・大石田町社会福祉協議会

食糧支援：大石田町内有志・フードバンク山形・ひとり親福祉会・北村山生活協同組合・山形県労連

（関連事業）

- ①学習支援教室 毎週日曜日午前実施 年間48回開催（+11）
延べ262名参加（小中高）（+40）
山形県・ひとり親家庭福祉会・大石田町社会福祉協議会

②子ども食堂 毎月1回 学習支援教室開催日 延べ11回(+11)
315食(無料弁当)(+315)

ボランティア虹の会・大石田町社会福祉協議会

③ふれあい食堂 毎月1回 延べ10回 (+8) 541食(+471)(弁当300円)

ボランティア虹の会・大石田町社会福祉協議会

④食糧等支援 支援件数100件以上(通常支援・フードドライブ・福わたし・フードパントリー)

食料等提供：大石田町民・山形県・ひとり親家庭福祉会・山形フードバンク・NPO
虹の架け橋・北村山生活協同組合・県労働組合連合会・大石田町社会福祉協議会

(4) 協働のまちづくり事業の実施 (大石田町からの委託事業)

(事業の目的)

人口減少、高齢化により、地域のつながりが希薄になりつつあり、生活弱者の孤立化、日常生活支援など様々な福祉的課題が生まれつつある。このように増え続ける福祉課題の解決に向けて、住民、行政、諸機関、団体等が協働して取り組むことを目的として次の事業に取り組んだ。

①除雪体制づくりプロジェクト会議(3回開催)

(事業の内容)

大石田町内の除雪にかかわる、住民、行政、除雪関係事業者、ボランティア、の代表が集まり、地域共助の間口除雪から雪下しまで、これまでの除雪体制などの課題について情報共有し、話し合いを重ねた。最終回は長岡技術科学大学教授上村靖司氏をお招きし、「雪かきで地域が育つ」をテーマに講演をしていただいた。この会議のまとめとして以下のような成果があった。

(成果)

- ア 雪の相談窓口を作ることによって、この冬は混乱なく除雪が行われた。
- イ 福祉協力員を配置して見守り体制を強化することが提案された。次年度から本格的に活動することとなった。
- ウ アドバイザーから人材育成などの多くの提案を頂いた。
- エ 上村教授の講演では、大石田町の除雪NPOの活動そのもののような例として、地域住民が行政と協働し自ら重機を操作し、除雪することにより地域がまとまった例があげられ、大石田町にとって大きな励みとなった。
- オ 除雪に携わる多くの方々が情報共有することにより、課題が明確になり、「チーム大石田」のような空気が生まれてきた。

(課題)

引き続きプロジェクト会議、雪の相談窓口等を実践し、新たな提案についての実践、福祉協力員配置による効果の検証をしたい。

(会議の構成)

大石田町建設業協会・大石田町道路維持協同組合・NPO まちづくり大石田・大石田町シルバー人材センター・スノーバスターズ・福祉ボランティアいこいの会・国土交通省克雪体制づくりアドバイザー・大石田町区長会・大石田町民生委員児童委員協議会・国土交通省国土政策局地方振興課・山形県北村山地域連携室雪対策室・大石田町 まちづくり推進課・保健福祉課 (事務局) 大石田町社会福祉協議会

②買い物支援プロジェクト(レインボーバスケット)

前年度鷹巣地区で取り組まれた「すこやか・安心地域づくりモデル事業」において実験的に取り組まれた買い物支援事業「買い物ツアー」をもとに、更に利便性を高め、地元の商店の協力を得て、「レインボーバスケット」を立ち上げた。

大石田町商工会の有志が中心となり、「福祉協力店」の連携により社会福祉協議会が窓口となり、自力で買い物に行けない高齢者や障害者の方々を対象に多様な商品やサービスを届けるというものである。

(実績)

利用登録者数：6名 コロナ関連登録：1名

利用回数：15回

福祉協力店(大石田町内)：21店舗

(課題)

利用者にとっての利便性(価格、配達手数料、品ぞろえ、配達回数など)を高めることによって利用者を増やし、買い物支援事業として町民の中に定着することが求められている。

(5) ボランティア育成事業

協働のまちづくりを進めるにあたり、新たな社会資源の開発をし、既成の社会資源の不足を補うことが求められている。ボランティアの育成は支え合う地域づくりを目標とする協働のまちづくり事業にとって不可欠なものである。

① 地域福祉ボランティア養成講座 山形県共同募金会の配分を受け実施

第1回 「地域の支え合い活動について」

講師：NPO ふれあい天童代表 加藤由紀子氏

第2回 映画「ぼけますからよろしく願いします」視聴

第3回 「疑似体験であなたも良き支援者に」

講師：花笠ホープ隊

第4回 「認知症サポーター養成講座」

講師：大石田町地域包括支援センター 関千恵子氏

参加者計：88名

② 愛宕山の森づくり活動

愛宕神社の杉の木を伐採後、桑、ニセアカシアなどの雑木が繁茂し始めたため、宮司の深澤氏より相談を受け、「町民の憩いの場」として愛宕山の森づくり活動に取り組むこととなった。東雲観光の鈴木氏の育てたアジサイ苗を植栽するなどの提案を受け、できるだけ多くの町民が森づくりボランティアとしてかわり、地域づくりのためのボランティア活動に参加できるよう声かけをしている。令和3年度より5か年の計画で実施予定。

10月8日 大石田中学校生徒全員・教職員による愛宕山整備作業実施。

(協力団体等)

大石田中学校・町民有志・財団法人やまがた森林と緑の推進機構・山形県立農業高等学校

3. 団体事務局について

(1) 大石田町老人クラブ連合会

①クラブ数・会員数：11クラブ 460人 (—82)

②活動状況：会議、行事、ボランティア作業のほとんどが中止。

実施事業：おしどり金婚式(21組参加)・新春囲碁将棋大会(11名参加)・
会長表彰式(優良クラブ1・育成指導功労者5名)
第39回ゲートボール大会(4チーム参加)
第20回グラウンドゴルフ大会(45名参加)

中止事業：総会・第46回老人クラブ体育レク大会・第35回老人クラブ連合会
研修旅行・第12回老ク連公式ワナゲ大会・会長役員合同研修会・手
づくり作品展・いきいき大石田福祉のつどい・県大会・各地区老人ク
ラブも多くは活動休止状態となった。

※コロナ禍により老人クラブ活動が休止することによって高齢者の孤立が心配された。

(2) 大石田町身体障がい者福祉会

①会員数：98人 (—7)

②活動状況：総会含め多くの会議等が中止。

実施事業：大石田町身障者交流サロン(カラオケ)12回・レク交流サロン(障
がい者スポーツ)12回・自主財源確保のためのお茶販売・友愛訪問
事業・山形県身体障害者相談員研修会・宿泊歩行訓練研修会

中止事業：総会・山形県身障者スポーツ大会・東紅苑カラオケ芸能交流会・カ
ーリング交流会・県大会

(3) 大石田町手をつなぐ育成会

①会員数：10人 賛助会員 15人(±0)

②活動状況：ほぼ予定通り実施。

実施事業：総会・親子ふれあい研修会(日帰り) 東紅苑でのレク大会

中止事業：北郡研修会・北郡レク大会・県大会

(4) 福祉ボランティアいこいの会

①会員数：34人(−1)

②活動状況：福祉施設でのボランティア活動等を除いてほぼ実施。

実施事業：配食サービス 24回(+2)

手づくりマスクの制作、寄付・一人暮らし高齢者クリスマスプレゼント製作、配布・おせち料理配達

中止事業：ふれあいマラソン給水ボランティア・福祉施設でのボランティア・そば祭り出店・会員研修会

(5) 大石田町遺族会

①会員数：130人(−6)

②活動状況：会議は中止

実施事業：大石田町追悼式・理事会・評議員会・遺族通信 12回配布

中止事業：山形県戦没者追悼式参加

4. 大石田町共同募金委員会について

社会福祉法人山形県共同募金会の大石田町支部委員会。業務委託ではなく、支部として位置づけられている。大石田町社会福祉協議会の定款第2条7項に「共同募金事業への協力」とあり、社会福祉協議会の重要な事業のひとつである。主に事業の計画立案をする運営委員と、町民の皆様からお預かりした募金を配分する審査委員とに分かれ、厳正に事業が執行されるようにしている。

(1) 赤い羽根共同募金運動

①実施時期：令和3年10月1日から

②目標額：1,575,000円(+45,000)

達成額：1,610,928円(+32,576)

③オープニングセレモニー

10月2日 ふたば保育園の協力を得て横山児童館で実施。

④一世帯に協力をお願いする金額：600円以上

⑤募金の配分

大石田町社会福祉協議会事業費に配分

(2) 歳末たすけあい運動

- ①実施時期：令和3年12月1日から
- ②目標額：1,050,000円（±0）
達成額：1,052,322円（-32,583）
- ③一世帯に協力をお願いする金額：500円以上
- ⑤募金の配分
152世帯、4福祉施設に配分

(3) 被災地支援募金活動（被災者支援の義援金・ボランティア支援の支援金）

全国で多発する自然災害に対し、被災地で暮らす方々の一日でも早い復旧支援のために募金箱を設置し、町民からの善意の募金をお願いする。一昨年7月豪雨災害において大石田町も共同募金に大きく支えられた。

- ①実施時期：随時
- ②募金額：任意

(4) ふたば保育園との共催によるチャリティーピアノコンサート

11月2日 ふたば児童館にて実施
社会福祉法人ふたば保育園より大石田町共同募金委員会へ7万円寄贈

5. 上記以外の事業について

(1) 心配ごと相談

相談員（社協会長より委嘱）4名 毎月1回水曜日 午後1時30分～
全12回実施 3件の相談（+2）

(2) 無料法律相談

弁護士による無料法律相談 隔月1回水曜日 午後1時30分～
全6回実施 1件の相談（電話相談）（-2）

(3) 車椅子無料貸出

8台保有 二週間を限度として、随時貸出。
全31回貸出（+10）

(4) 鍼灸マッサージ施術助成券交付

一人3回まで、1回につき1,000円の補助
全5回交付（-3）

(5) 児童遊園地整備助成事業

2 地区より修理、撤去の申請 助成金額計 31,500 円 (±0)

(6) 敬老会開催助成事業

各地区・施設で開催される敬老会に、一人あたり350円を助成する。

27地区(+4)・3施設より申請、969名(+145)、助成金額計 339,150 円
(+50,750)

(7) 福祉教育

中学生による除雪ボランティア活動は中止。

東北学院大学生によるボランティア活動は中止。

山形大学生による除雪ボランティア：1月22日(土)50名参加

大石田中学生による愛宕の森づくり活動

中高生による共同募金活動ボランティア参加

6. 法人運営について

(1) 理事会、評議員会、評議員選任解任委員会、監事会の開催

①6月1日開催監事会

令和2年度収支決算についての会計監査

②6月8日開催理事会

議案第1号 令和2年度大石田町社会福祉協議会事業報告について

議案第2号 令和2年度大石田町社会福祉協議会収支決算について

議案第3号 欠員による大石田町社会福祉協議会評議員の推薦について

議案第4号 大石田町社会福祉協議会評議員の推薦について

議案第5号 大石田町社会福祉協議会新理事・監事の推薦について

議案第6号 役員定数改定による定款変更について

議案第7号 大石田町社会福祉協議会評議員会の開催日について

報告事項1 会長及び常務理事の職務執行状況報告について

③6月8日開催評議員選任・解任委員会

理事会推薦評議員の選任議決

④6月29日開催評議員会

報告事項 評議員選任・解任委員会で選任された新評議員について

- 議案第 1 号 令和 2 年度大石田町社会福祉協議会事業報告について
- 議案第 2 号 令和 2 年度大石田町社会福祉協議会収支決算について
- 議案第 3 号 大石田町社会福祉協議会理事・監事の選任について
- 議案第 4 号 大石田町社会福祉協議会定款の一部変更について

⑤6月29日開催理事会

- 報告事項 評議員会で選任された新理事・監事について
- 議案第 8 号 大石田町社会福祉協議会会長・副会長・常務理事の選任について
- 議案第 9 号 大石田町社会福祉協議会評議員選任・解任委員の任期満了にともなう選任について
- 議案第 10 号 大石田町社会福祉協議会評議員会の開催日程について

- ※ 定款の一部変更申請 7月7日
- ※ 定款の一部変更認可 7月9日

⑥8月6日開催評議員会

定数変更後、委嘱状の交付

⑦8月6日開催評議員選任・解任委員会

委嘱状の交付

⑧12月20日開催理事会

- 報告事項 1 会長及び常務理事の職務執行状況報告について
- 議案第 11 号 大石田町社会福祉協議会定款施行細則の一部変更について
- 議案第 12 号 令和 3 年度大石田町社会福祉協議会一般会計補正予算（第 1 次）について

⑨令和 4 年 3 月 15 日開催理事会

- 報告事項 1 会長及び常務理事の職務執行状況報告について
- 報告事項 2 定款施行細則の変更部分について
- 議案第 13 号 令和 3 年度大石田町社会福祉協議会一般会計補正予算（第 2 次）について
- 議案第 14 号 令和 4 年度大石田町社会福祉協議会事業計画について
- 議案第 15 号 令和 4 年度大石田町社会福祉協議会一般会計予算について
- 議案第 16 号 大石田町社会福祉協議会評議員会の開催日程について（追加）
- 議案第 17 号 大石田町社会福祉協議会経理規程の一部改正について（追加）

⑩令和4年3月28日開催評議員会

報告事項1 定款施行細則の変更部分について

報告事項2 大石田町社会福祉協議会経理規程の一部改正について（追加）

議案第5号 令和3年度大石田町社会福祉協議会一般会計補正予算（1次・2次）について

議案第6号 令和4年度大石田町社会福祉協議会事業計画について

議案第7号 令和4年度大石田町社会福祉協議会一般会計予算について

議案第8号 大石田町社会福祉協議会理事の選任について

(2) 大石田町社会福祉協議会苦情解決第三者委員調査委員会

大石田町社会福祉協議会が行う「福祉サービス利用援助事業」をはじめとして、大石田町社会福祉協議会の事業について、利用者、参加者から苦情が出た場合に当事者から聞き取り、調査し、解決に導くための委員会。

委員会構成：第3者委員2名・苦情解決責任者1名・サービス提供者2名

苦情取扱件数：0件

苦情等無く、開催なし。

(3) 大石田ライオンズクラブとの自然災害発生時における災害ボランティアセンター支援に関する協定 令和4年3月11日締結

令和2年の水害時にはライオンズクラブに大きな支援をしていただいた。当時の教訓をもとに、より強固な支援活動ができるよう大石田ライオンズクラブから協定締結の申し出を頂き、令和4年3月11日に協定締結に至った。

(支援の内容)

- ①支援活動本部および災害ボランティアの活動拠点の運営に必要な設備、災害ボランティア活動等に必要な資機材等の提供
- ②ボランティア支援拠点等におけるボランティア等への飲料、食料品等の提供
- ③ライオンズクラブの会員が有する専門性等を活かした物的・人的支援の提供
- ④その他、甲および乙が協議により支援活動本部およびボランティア活動の推進に必要とする支援の提供

7. 情報発信について

ホームページ・フェイスブックによる情報発信

「おもいやり」2回発行

「お知らせ」3回発行